

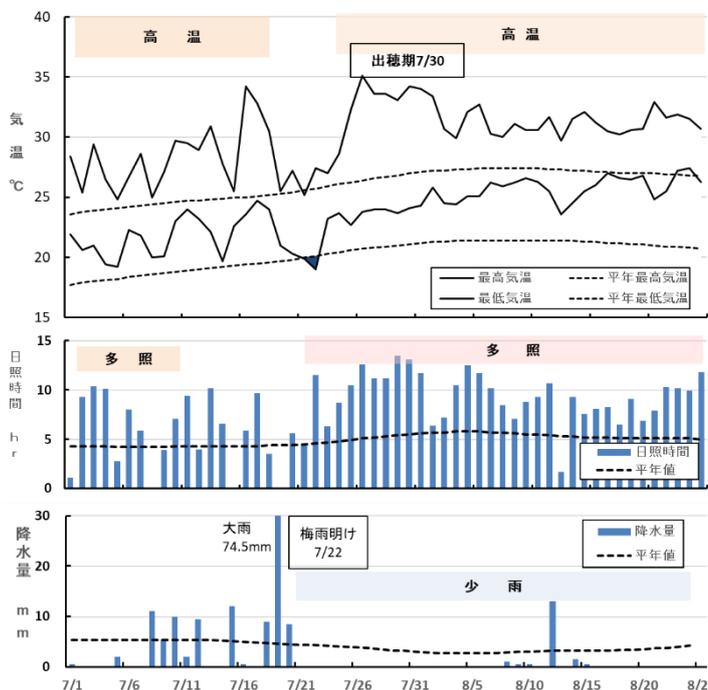
稲作情報 (Vol.9)

令和5年8月25日
宮城県石巻農業改良普及センター
石巻地方米づくり推進本部
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/

ひとめぼれの籾数は概ね平年並み。収穫適期は9月上旬の見込み。

8月中旬以降の気象経過

8月中旬以降の気温は平年を上回って推移し、最高気温は降雨のあった8/12を除いて連日30℃を超え、最低気温も25℃を超える日が多く、日照時間は多く、降水量も8/12~15に計15mmの降水があったのみで少雨となっています。



水稻の生育状況

＜ひとめぼれの籾数は概ね平年並み＞

- 生育調査ほのひとめぼれは、稈長は平年よりやや長く、穂長は平年並み～やや長くなりました。穂数は平年より少ない～平年並みで、一穂籾数が平年よりやや少ない～多いとなったことから、㎡当たり籾数は平年比97%～102%と、概ね平年並みとなりました。
- 生育調査ほのササニシキは、稈長は平年並み～やや長く、穂長は平年並みとなりました。穂数・一穂籾数・㎡当たり籾数は、ほ場により差があり、平均すると平年並程度となりました。
- だて正夢・金のいぶきは、稈長が短く、穂数は平年より少ない～平年並みでしたが、一穂籾数は平年より少なく、㎡当たり籾数は平年を下回りました。
- 直播栽培のササニシキの穂数・一穂籾数・㎡当たり籾数とも、平年を大きく上回りました。直播栽培の萌えみのりも㎡当たり穂数542本、㎡当たり籾数394百粒と良好な生育です。

図1 田植後の気象経過(アメダス石巻)

表1 出穂25日後調査結果

区分・品種	調査ほ場	稈長 (cm)		穂長 (cm)		穂数 (本/㎡)		1穂籾数 (粒/穂)		籾数 (百粒/㎡)							
		前年比 (%)	平年比 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)						
生育調査ほ	ひとめぼれ	石巻市広淵	85.8	105%	105%	18.0	106%	104%	403	86%	84%	72.5	121%	122%	292	104%	102%
		東松島市小松	81.4	103%	103%	17.8	97%	100%	461	111%	100%	61.6	101%	97%	284	112%	97%
		ひとめぼれ平均	83.6	104%	104%	17.9	102%	102%	432	99%	92%	67.1	111%	110%	288	108%	100%
生育調査ほ	ササニシキ	石巻市桃生	77.7	89%	102%	17.2	89%	99%	459	93%	105%	72.7	99%	117%	364	92%	123%
		石巻市稲井	77.6	95%	99%	17.6	94%	99%	382	96%	83%	72.7	85%	96%	278	81%	81%
		ササニシキ平均	77.65	92%	101%	17.4	91%	99%	421	94%	94%	72.7	92%	107%	321	86%	102%
だて正夢展示ほ	東松島市小松	81.7	89%	91%	18.6	96%	95%	400	109%	100%	85.3	100%	95%	341	109%	95%	
金のいぶき展示ほ	石巻市蛇田	87.6	93%	91%	20.3	101%	100%	469	99%	91%	68.7	92%	95%	322	91%	87%	
直播栽培展示ほ 乾田直播 ササニシキ	石巻市須江	85.6	100%	112%	18.6	101%	105%	596	96%	117%	82.8	112%	123%	493	108%	151%	
業務用多収品種展示ほ 乾田直播 萌えみのり	石巻市桃生	70.7	-	-	20.9	-	-	542	-	-	72.7	-	-	394	-	-	

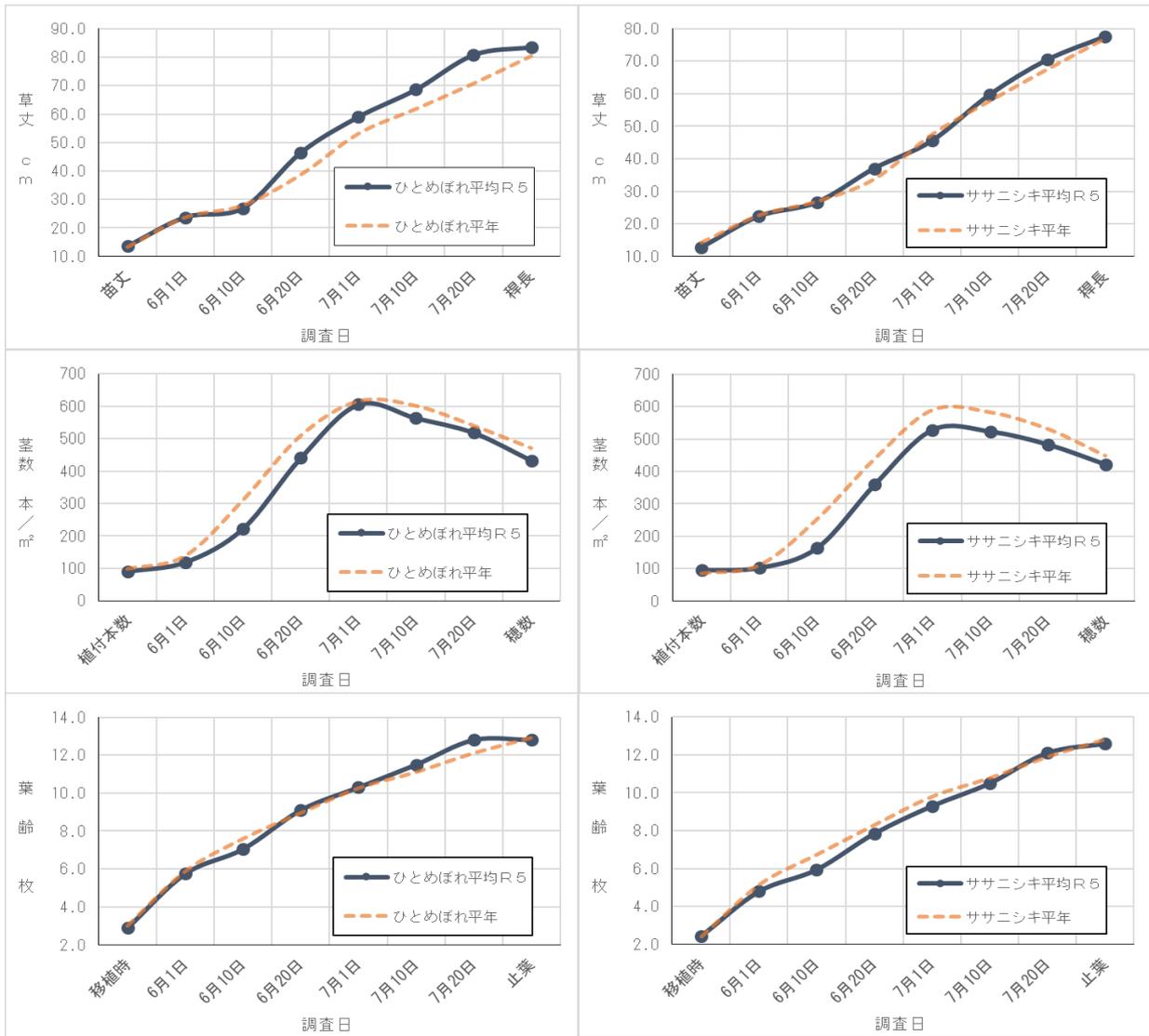
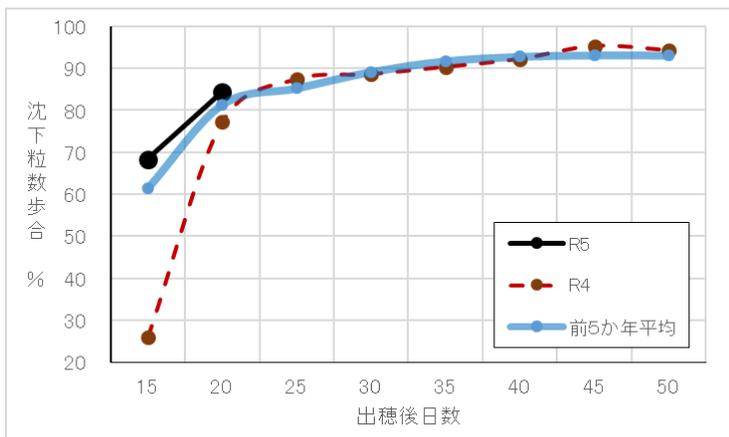


図2 ひとめぼれの生育経過

図3 ササニシキの生育経過



登熟の状況を示す沈下粒数歩合は、出穂後の登熟温度が高く推移していることから、平年を上回って推移しており、順調に登熟しています。

図4 沈下粒数歩合の推移(古試作況ほ)

今後の管理

1 適期刈取 ～出穂が早く気温も高いため、収穫適期は大幅に早まります～

一般的なひとめぼれ、ササニシキの刈取早限にあたる成熟期は、籾の80～90%が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から3分の1程度黄変したときとなります。

出穂後の日平均積算気温からみた刈取適期の目安は表2のとおりで、出穂期が早いことと出穂後の気温が高く推移しているため、**刈取適期は9月上旬頃と、平年より大幅に早まります。**

表2 出穂後の積算気温（8/24日現在）

	積算気温	管内出穂期		
		始期	盛期	終期
		7/26	7/30	8/5
刈取早限	940℃	8/30	9/4	9/12
刈取適期	1,000℃	9/2	9/7	9/14
刈取晩限	1,100℃	9/6	9/11	9/19

出穂後の翌日から日平均気温を積算。8/24以降は前5か年平均値で積算。

表3 出穂後日数、積算気温による品種別刈取適期の目安

品種名	積算気温	出穂後日数
ひとめぼれ	940～1,100℃	40～45日
まなむすめ	960℃前後	45～50日
ササニシキ	930～1,150℃	45～50日
みやこがねもち	1,000℃前後	
だて正夢	1,020～1,060℃	50日前後
金のいぶき	1,050～1,150℃	50～55日
つや姫	1,000～1,200℃	

出穂後日数は、気象条件等が平年並みに推移した場合を想定。稔実粒数が少ないときや登熟期間の温度が高いときは早まる。1株総粒数が多いときや登熟期間の温度が低いときは遅れる場合がある。

日平均積算気温 1,100℃超過（刈遅れ）では、食味・品質が低下するので、刈取適期内でもできるだけ早めに刈り取りましょう。㎡当たり粒数が少ないと刈取適期が早まりますが、粒数が多くなっても刈取晩限があまり遅くならないことに注意が必要です。倒伏したほ場では、穂発芽による品質低下が起きやすいので、刈取早限になったら直ちに収穫します。ひとめぼれでは、平均的穂数株（枝梗数8）の中位二次枝梗粒の籾色を観察することにより成熟段階を判定でき、刈取適期を予測できます。

◎籾熟色によるコンバイン収穫期の予測判定

- 成熟段階Ⅰ：第1位籾が急速に黄化開始（籾黄化判定開始）
- 成熟段階Ⅱ：第1位籾がほぼ黄化（90%）（7日以内で刈取り早限）
- 成熟段階Ⅲ：第1位籾が殆ど黄化し（95%）、第2、3位籾が黄化開始（刈取り早限）
- 成熟段階Ⅳ：第1位籾の黄化100%、第2、3位籾が30%黄化（積算気温1000℃程度）
- 成熟段階Ⅴ：第2、3位籾が50%以上黄化（刈取り晩限）

刈取適期

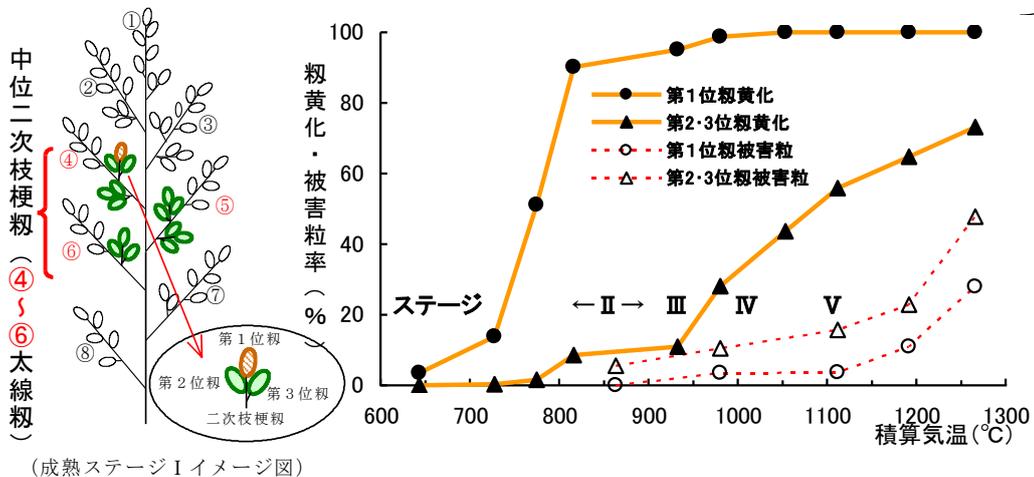


図5 積算温度と穂の中位二次枝梗籾黄化率の推移

2 良食味・高品質米に仕上げる収穫・乾燥調製

◎収穫作業

- ・コンバイン収穫では、籾水分が高いと損傷が多くなるので、籾水分 25%以下を目標に刈取作業をしましょう。
- ・複数の品種の刈取りを行う場合には、品種が替わる際に十分な清掃を行い、機械内における異品種の混入を未然に防ぐよう注意しましょう。
- ・倒伏している場合は、他の稲とは別に「刈分け」を実施し、収穫物に石など異物が混入しないよう注意しましょう。鉄コーティング直播は特に倒伏しやすいので、刈取適期に達したら早めに収穫しましょう。

◎乾燥・調製作業

- ・収穫した生籾を放置すると発熱して変質米の原因になるので、刈取り後速やかに乾燥機に張り込み送風しましょう。
- ・倒伏した稲や未熟粒の多い稲などを機械乾燥する場合は、二段乾燥(籾水分が 18%程度になったら火力乾燥を一時中断し一定時間通風循環後仕上げ乾燥を行う)を行い、水分ムラや胴割米の発生を抑えましょう。
- ・正確な水分測定のためには、玄米の測定サンプルから未熟粒を取り除いて測定しましょう。また、こまめに水分測定することで過乾燥を防止しましょう。仕上がり玄米水分は 14.5%~15.0%が目標です。
- ・籾摺は肌ずれ防止のため、籾の温度を室温まで下げてから行いましょう。また、ロール式籾摺機の場合は、籾(品種)に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。
- ・異品種の混入を未然に防ぐため、品種が替わる毎に機械類の清掃を徹底しましょう。

東北地方 1 か月予報

(8月26日から9月25日までの天候見通し)

令和5年8月24日仙台管区气象台 発表※抜粋

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。平均気温は、高い確率 80%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	10	80
【降水量】	東北地方	30	30	40
【日照時間】	東北地方	40	30	30
<気温の階級の確率(%)>		低い	平年並	高い
1 週目	東北地方	10	10	80
2 週目	東北地方	10	10	80
3~4週目	東北地方	10	30	60

高温に関する早期天候情報(東北地方)

令和5年8月24日14時30分

仙台管区气象台 発表

東北地方 8月30日頃から かなりの高温

かなりの高温の基準：5日間平均気温平年差 +2.7℃以上

東北地方の向こう2週間の気温は、暖かい空気が流れ込みやすいため、かなり高い日が多いでしょう。熱中症の危険性が高い状態となります。屋外での活動等では飲料水や日陰を十分に確保したりするなど熱中症対策を行い、健康管理に注意してください。また、農作物や家畜の管理等にも注意してください。なお、1週間以内に高温が予測される場合には高温に関する気象情報を、翌日または当日に熱中症の危険性が極めて高い気象状況になることが予測される場合には熱中症警戒アラートを発表しますので、こちらにも留意してください。

～ 秋の農作業安全確認運動が始まります！ ～

(令和5年9月1日から令和5年11月30日)

重点推進テーマ「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策」